

8月1日(土) 三二講義(20分間)

11:50-12:10

実践薬学部門 講師 神林弾

1 昭和の薬学、令和の薬学。 ～進化する薬剤師と獣医療の未来～

薬剤師の仕事は人のお薬だけ？進化する「令和の薬学」は動物の命も救います！獣医療に関わる薬剤師の世界の最前線から、国内動物病院との最新プロジェクトまで、新領域を切り拓くクリエイティブな薬学のリアルを語ります。

12:20-12:40

社会薬学研究室 教授 原梓

2 AI時代の薬剤師に必要な力とは？

医療情報ビッグデータやAIの活用が進む今、薬剤師にもデータを読み解き活用する力が求められています。本学の「薬学データサイエンス教育プログラム」で身につく学びや、その魅力についてわかりやすくご紹介します。

14:20-14:40

薬学教育推進研究室 講師 長谷川仁美

3 薬学生に必要なコミュニケーション力とは？

薬学の知識を現場で活かすカギはコミュニケーションです。相手も自分も大切にするコミュニケーション技法“アサーション”を紹介します。1年生が実際に受けている授業を体験してみませんか？

14:50-15:10

薬理学研究室 准教授 土屋幸弘

4 薬はどうして効くの？ 身近な薬のひみつをのぞいてみよう！ —薬が効くしくみと副作用のひみつ—

普段何気なく飲んでいる薬には、たくさんの「ひみつ」があります。痛み止めにはなぜ胃薬と一緒に飲むの？花粉症の薬はなぜ眠くなるの？身近な薬を例に、薬が効くしくみや副作用のしくみをわかりやすく紹介します。

8月2日(日) 三二講義(20分間)

14:20-14:40

実践薬学部門 講師 森元能仁

5 病院・大学・研究の現場へ！ 薬剤師のキナナル世界

病院での実務から大学での臨床薬学教育、抗がん薬の基礎研究まで紹介。さらに今注目の行動経済学を取り入れたユニークな挑戦をお話しします。

自身のキャリア紹介から、あなたの未来の可能性が見つかるかもしれないミニ講義です。

14:50-15:10

薬物動態学研究室 教授 清水万紀子

6 薬の効き方が人によって違うのは なぜだろう？

くすりの効き方は人それぞれに違うことがあります。これはくすりの生体内での運命が人によって異なるためです。

今日はくすりを飲んだ後の生体内での運命と個人の体質の違いを、くすりを分解する酵素を中心に説明します。